

—スタッフ紹介—

役 職	スタッフ名
医療監	伊豆蔵 正明
診療局次長 兼がん治療センター長 兼外科主任部長 医療安全管理室長	位藤 俊一
診療局長補佐 兼外科部長 兼栄養管理センター長	飯干 泰彦
Acute care surgery 副センター長 兼部長	山村 憲幸
医 長	出村 公一
医 長	今里 光伸
医 長	金 浩敏
医 長	畠野 尚典
医 長	梶原 淳
医 長	宇治 公美子
非常勤医員	高橋 亜由美

—概要—

外科の診療内容としては、上部消化管、下部消化管、肝・胆・膵、乳腺・甲状腺外科および小児外科領域の手術をはじめ、集学的治療等を行っている。年間全身麻酔手術件数は、約600件であり増加傾向にある。急性腹症や外傷に関しては救急診療科との連携によるAcute care surgeryセンターにて南大阪医療圏の緊急手術症例に対応している。上部消化管グループでは、早期胃癌に対して腹腔鏡下手術で合併症なく早期退院を図り、進行胃癌では薬物療法を含めた集学的治療を行い、予後の改善を図っている。下部消化管グループでは、結腸がん、直腸がんに対する腹腔鏡下手術を積極的に導入しており、大腸ポリープに対しては1泊2日の内視鏡的粘膜切除術(EMR)も行っている。肝胆膵外科グループでは、年間肝切除が約30-40例、膵切除が5-10例、胆嚢摘出術は80-100例のほぼ全てを腹腔鏡で行っている。移植以外の肝胆膵領域疾患全てに加え後腹膜腫瘍や脾臓疾患にも対応しており、腹腔鏡下手術から高難度の拡大手術まで幅広い手術を安全に行っている。また、各疾患ガイドラインはもとより最新の知見やエビデンスに基づいた治療を徹底し、合併症回避・QOL改善に全力で取り組んでいる。また、外科手術症例全領域において、クリニカルパスによる定型化と簡便化をはかり、安全で質の高い治療を提供している。進行癌に対する薬物療法においては、大阪大学との連携のもとに全国規模の臨床試験にも積極的に参加し、最新の治療法を導入するとともに、医師・看護師・薬剤師・ソーシャルワーカーや心療内科医を擁する・緩和ケアチームなど多職種で構成されたチーム

により、きめ細かく丁寧な診療をはかっている。さらに外来では、かかりつけ医との地域連携パスの推進により、日常診療のバックアップ体制の強化を行っている。悪性疾患に対する薬物治療は年間延べ約2千件を超える件数を行っており、増加の傾向にある。また、2014年の延べ入院患者数は約1万6千人であり、延べ外来患者数は約2万人である。

当院では外科医だけでなく、病理医、放射線科医、腫瘍内科医、薬剤師、看護師、検査技師と地域連携室やがん相談支援センター等と連携したチーム医療を実践しており、各症例についてエビデンスにもとづく治療を中心に様々な治療オプションを検討し、治療方針を決定している。さらに、チーム医療に関して放射線診断医をはじめ多領域の専門家が参加するキャンサーボードを積極的に行い、治療方針決定において重要な役割を担っている。

新たな治療に関しては全国レベル、国際レベルの臨床試験や治験に積極的に参加しており、エビデンス構築の一役を担っている。消化器外科手術に関しては、腹腔鏡手術を積極的に取り入れ、侵襲の少ない根治的手術を行っている。

乳腺、甲状腺疾患に関しては、良性、悪性を問わず地域医療機関より紹介を頂いており、精査、治療に対応している。早期乳がんでは研究的治療として限定した適応のもとにラジオ波焼灼療法を行っており、全国の専門医からも紹介を頂いている。

なお、当施設は小児外科の研修が可能な数少ない施設の一つであることも特徴としてあげられる。関西だけでなく全国の大学からの見学も多数あり、バラエティ豊富な手術症例を学んでいただき好評を博している。

外来診察に関しては、通常の外來診療以外に月曜日・水曜日に乳腺専門外来を、また火曜日にはストーマ外来を行っている。

—今年度の成果と反省点—

胃がん、大腸がん、消化器外科手術に関しては、腹腔鏡手術をはじめとする低侵襲手術が増加傾向である。

—来年度への抱負—

地域連携をさらに深めることにより外科手術症例を円滑に受け入れ増加し、地域医療にさらに貢献したい。

—実績—

【手術実績】

上部（食道・胃・十二指腸）	
食道癌	5
胃悪性腫瘍	53
胃・十二指腸潰瘍・その他	7
食道裂孔ヘルニア	1
計	66
下部（小腸・大腸・肛門）	
結腸癌	74
直腸癌	39
その他悪性腫瘍	1
計	114
虫垂炎	
急性虫垂炎	23
肝胆膵	
肝細胞癌	12
胆道癌	7
転移性肝癌	16
胆石・胆嚢炎	63
膵癌	2
計	100
イレウス	
イレウス	7
ヘルニア	
鼠径ヘルニア	133
腹壁癒痕ヘルニア	9
大腿ヘルニア	5
その他	4
計	151
乳腺甲状腺	
乳癌	89
乳腺腫瘍	6
甲状腺癌	10
甲状腺腫瘍	3
その他の甲状腺疾患	2
計	110
小児外科	
鼠径ヘルニア	42
臍ヘルニア	7
虫垂炎	13
その他	1
計	63
その他	
腹膜炎・その他	36
<b>総計</b>	<b>670</b>

【外科カンファレンス】



【病棟回診】



【外科手術】

